

第1日目 平成29年7月6日(木)

9:10 受付開始

9:10~9:40 ポスター設置タイム

9:40~9:50 開会の辞：年会長 花尻（木倉）瑠理（国立衛研）

9:50~10:30 一般講演①〈乱用薬物の薬理評価1〉

座長 沼澤 聡（昭和大・薬）

O-01

メタボロミクス及び骨格筋 UCP-3発現解析によるセロトニン症候群モデルラットの病態解析
○野田沙樹¹、財津 桂^{1,2}、林 由美^{2,3}、大原倫美¹、井口 亮⁴、草野麻衣子¹、佐藤貴子⁵、土橋均¹、石川哲也³、鈴木廣一¹、石井 晃¹

(¹名大・法医、²名大・高等研究院、³名大・病態解析、⁴沖縄高専・生物資源工学、⁵大阪医大・法医)

O-02

25B-NBOMeはゼブラフィッシュに横紋筋融解症を惹起する

川原玄理¹、前田秀将²、花尻（木倉）瑠理³、林由起子¹、○吉田謙一²

(¹東医大・病態生理学、²東医大・法医学、³国立衛研)

O-03

合成カンナビノイド JWH-018による脳の内因性カンナビノイド2-AG の増加：機構および学習・記憶を含む障害性との関連

○李 任時¹、武田知起¹、森元 聡²、花尻（木倉）瑠理³、山田英之¹、石井祐次¹

(¹九大院・分子衛生薬学、²九大院・生薬学、³国立衛研)

10:30~11:10 一般講演②〈乱用薬物の薬理評価2〉

座長 石井祐次（九大院・分子衛生薬学）

O-04

Δ9-THC, JWH-018, 5-fluoro-ADB が誘発するマウスの脳活動と行動

○小早川令子¹、花尻（木倉）瑠理²、小早川高¹ (¹関西医大、²国立衛研)

O-05

大麻成分 Δ9-THC は、CB1受容体を介して痙攣を誘発する

○マリシェフサカヤ オリガ¹、有竹浩介¹、カウシク マヘシュ¹、内山奈穂子²、シェラス ヨアン¹、花尻（木倉）瑠理²、裏出良博¹ (¹筑波大・睡眠医科学研・分子睡眠生物学、²国立衛研・生薬部)

O-06

合成カンナビノイド系薬物MDMB-CHMICAは、ラットに徐脈・昇圧作用と行動異常を惹起する

○前田秀将¹、永嶋瑛利香¹、川原玄理²、花尻（木倉）瑠理³、林由起子²、吉田謙一¹

(¹東医大・法医学、²東医大・病態生理学、³国立衛研)

11:20~12:20 ポスターセッション（奇数番号）

12:30~13:30 ランチョンセミナー①

主催 アジレント・テクノロジー株式会社

12:30~13:30 ランチョンセミナー②

主催 サイエックス

13:40~14:20 総会、吉村賞表彰式

14:20~15:20 教育講演

座長 花尻（木倉）瑠理（国立衛研）

New Psychoactive Substance (NPS)の薬理活性評価

○鈴木 勉（星薬科大学薬物依存研究室）

15:25~16:05 一般講演③〈薬物代謝と分析〉

座長 鎌田 徹 (大阪府警・科捜研)

O-07

ヒト肝細胞キメラマウス由来新鮮ヒト肝細胞によるフェンタニル類の代謝

○金森達之、岩田祐子、瀬川尋貴、山室匡史、桑山健次、辻川健治、井上博之 (科警研)

O-08

ヒト尿中からの合成カンナビノイド MAB-CHMINACA の代謝物の同定と定量

○長谷川弘太郎¹、南方かよ子¹、権守邦夫¹、野澤秀樹¹、山岸 格¹、渡部加奈子¹、鈴木 修²
(¹浜松医大・法医、²浜松医大)

O-09

5-PPDIのヒト尿中代謝物に関する研究

○石井 歩¹、日下部幸祐¹、加藤範行¹、佐々木慎一²、辻川健治³、和田 猛⁴
(¹神奈川県警・科捜研、²警視庁・科捜研、³科警研、⁴東理大・薬)

16:05~17:10 シンポジウム〈薬物分析：若手の挑戦〉

オーガナイザー 井上博之 (科警研)

片木宗弘 (大阪府警・科捜研)

O-10

エネルギー分解質量分析法によるフルオロメトカチノンの *o*-, *m*-, *p*-位置異性体識別

○村上貴哉¹、岩室嘉晃¹、石丸麗子¹、坂本雄紀²、杉村夏彦³、地中 啓¹
(¹石川県警・科捜研、²島津製作所、³早大・物性計測センターラボ)

O-11

電位変調法と組み合わせた電気化学発光を利用したメタンフェタミンの一次スクリーニング分析法の開発

○高橋史樹、清水 亮、新田 咲 (信州大・理)

O-12

探針エレクトロスプレータンデム質量分析(PESI/MS/MS)を用いた超迅速かつ簡便な血液中薬毒物スクリーニング法の構築

○久恒一晃^{1,2}、財津 桂^{2,3}、林 由美^{3,4}、村田 匡⁵、大原倫美²、草野麻衣子²、谷畑博司⁵、肥田宗政¹、土橋 均²、石川哲也⁴、石井 晃² (¹愛知県警・科捜研、²名大院・法医生命倫理学、³名大・高等研究院、⁴名大院・病態解析学、⁵島津製作所)

O-13

イオンモビリティ分離法と組み合わせたLC-Q-TOFMSを用いた生体試料中危険ドラッグ分析について

○河村麻衣子、花尻 (木倉) 瑠理、袴塚高志 (国立衛研)

O-14

臓器中5F-ADB濃度と加水分解酵素の相関及び体内分布

○草野麻衣子¹、財津 桂¹、大原倫美¹、野田沙樹¹、久恒一晃²、浅野友美¹、吉本高士¹、中嶋順一³、鈴木 仁³、守安貴子³、土橋 均¹、石井 晃¹
(¹名大・法医、²愛知県警・科捜研、³東京都健安研セ)

17:15~17:45 イブニングセミナー

主催 バイオタージ・ジャパン株式会社

18:20~20:20 懇親会(会場:ホテル ニューオータニイン東京 3F おおとり)

第2日目 平成29年7月7日(金)

9:10 受付開始

9:30~10:10 一般講演④〈生体試料中薬物分析〉

座長 財津 桂 (名大・法医)

O-15

マイクロ分画分析による同時摂取した薬物間の毛髪内分布の違い

○桑山健次¹、成相舞花²、宮口 一¹、岩田祐子¹、金森達之¹、辻川健治¹、山室匡史¹、瀬川尋貴¹、安部寛子³、岩瀬博太郎^{2,3}、井上博之¹ (¹科警研、²東大・法医、³千葉大・法医)

O-16

質量分析イメージングによる同時に採取された複数本の毛髪中の薬物分布の差異の検討

○鎌田 徹¹、志摩典明¹、三木昭宏¹、西岡 裕¹、鎌田寛恵¹、佐々木啓子¹、松田駿太郎¹、掛橋秀直¹、中野史保子¹、和田美暁¹、佐藤貴子²、土橋 均³、片木宗弘¹
(¹大阪府警・科捜研、²大阪医大・法医、³名大・法医)

O-17

ワンチューブマイクロ粉碎抽出法とキラル液体クロマトグラフィー／高分解能質量分析による毛髪中ゾピクロンの定量分析

○宮口 一、桑山健次 (科警研)

10:10~10:50 一般講演⑤〈生体内薬物分布と分析〉

座長 工藤恵子 (九大院・法医)

O-18

LC-MSMS を用いた爪中処方薬の分析

○斉藤 剛¹、奈女良昭²、猪口貞樹¹ (¹東海大・救命救急、²広島大院・法医)

O-19

皮下・経口投与されたメタンフェタミンの胃内容/血液濃度比の推移

○吉留 敬^{1,3}、守屋文夫^{2,3}、宮石 智³
(¹川崎医大・衛生、²川崎医福大・保健看護、³岡大・法医)

O-20

服薬から窒息死に至る事件経過を代謝物分析と組織分布から推定した2事例

○奥田勝博¹、榎野陽介²、浅利 優¹、田中宏樹¹、山田ひろみ¹、堀岡希衣¹、塩野 寛¹、清水恵子¹ (¹旭川医大・法医、²東大・法医)

10:55~11:55 特別講演

座長 田中理恵 (国立衛研)

わが国の薬物乱用・依存状況の最新動向：危険ドラッグ問題の流行と終息

○嶋根卓也¹、大曲めぐみ¹、北垣邦彦²、立森久照¹、船田正彦¹、和田 清³

(¹国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所、²東京薬科大学薬学部社会薬学研究室、³埼玉県立精神医療センター依存症治療研究部)

12:05~13:05 ランチョンセミナー③

主催 日本ウォーターズ株式会社

12:05~13:05 ランチョンセミナー④

主催 株式会社島津製作所

13:15~14:15 ポスターセッション (偶数番号)

14:15~14:25 休憩、ポスター撤去タイム

14:25～15:00 吉村賞受賞講演

座長 花尻 (木倉) 瑠理 (国立衛研)

危険ドラッグ製品に含まれる合成カンナビノイドの化学構造と生物活性に関する研究
○中嶋順一 (東京都健康安全研究センター)

15:00～16:05 一般講演⑥〈薬物分析・その他〉

座長 斉藤 剛 (東海大・救命救急)
奈女良 昭 (広島大院・法医)

O-21

LC-Q-TOF-MS を用いた大麻草 (*Cannabis sativa* L.) のカンナビノイドの分析

○田中理恵¹、水谷佐久美¹、河村麻衣子¹、渕野裕之²、川原信夫²、花尻 (木倉) 瑠理¹、袴塚高志¹ (¹国立衛研、²医薬健康栄研・薬植セ)

O-22

光イオン化ガスクロマトグラフィー/質量分析法による危険ドラッグの分析

○阿久津守¹、杉江謙一¹、斉藤貢一² (¹関東麻取・鑑定課、²星薬大・薬品分析化学)

O-23

新規カチノン系薬物メキセドロン[®]の合成と新たな知見

○辻川健治、岩田祐子、瀬川尋貴、山室匡史、桑山健次、金森達之、井上博之 (科警研)

O-24

C型肝炎治療薬ハーボニー配合錠の偽造品に関する成分分析

○内山奈穂子、鎌倉浩之、政田さやか、辻本 恭、細江潤子、丸山卓郎、合田幸広、袴塚高志 (国立衛研)

O-25

アッセイ感度の向上を目指す「抗体育種」：抗コチニン抗体を例として

○小林典裕、大山浩之、森田いずみ、木口裕貴 (神戸薬大)

16:05～16:15 閉会の辞:次期年会長 沼澤 聡(昭和大・薬)

ポスターセッション

ポスター設置タイム	7月6日（木）9:10 ～ 9:40
ポスター掲示期間	7月6日（木）9:40 ～ 7月7日（金）14:15
ポスター発表時間（質疑応答）	
奇数番号の演題	7月6日（木）11:20 ～ 12:20
偶数番号の演題	7月7日（金）13:15 ～ 14:15
ポスター撤去タイム	7月7日（金）14:15 ～ 14:25

P-01

コンピュータシミュレーションによる違法薬物の活性予測に関する研究
○出水庸介、田中理恵、袴塚高志、栗原正明、花尻（木倉）瑠理（国立衛研）

P-02

光学活性をもつカルボキサミド型合成カンナビノイドのCB1/CB2受容体活性化能について
○土井崇広、田上貴臣、武田章弘、浅田安紀子、沢辺善之（大阪府公衛研）

P-03

危険ドラッグ成分刺激により誘発されるカンナビノイド関連受容体下流細胞内シグナル伝達経路の解析
○木戸 命¹、熊谷英敏¹、中田 亮¹、許沢佳宏¹、池田祐一¹、花尻（木倉）瑠理²、小室一成¹
（¹東大医・循環器内科、²国立衛研）

P-04

合成カンナビノイドの興奮作用発現メカニズムの解析
○篠岡恭子、光本（貝崎）明日香、沼澤 聡
（昭和大・薬・毒物学）

P-05

危険ドラッグに含まれる化合物のNMDA型グルタミン酸受容体阻害活性の*in vitro*薬理評価系の開発
○最上（重本）由香里¹、佐藤 薫¹、干川和枝¹、清水英雄¹、花尻（木倉）瑠理²、袴塚高志²、関野祐子^{1,3}（¹国立衛研・薬理部、²国立衛研・生薬部、³東大・薬）

P-06

覚せい剤の体内動態に対する薬物トランスポーターの関与
○千葉正悦、井川 亨、呂 彩子、菅野さな枝、大出透乃、一場一江、鷲 盛久、向井敏二
（聖マリアンナ医大・法医）

P-07

ミトラギニンによる血管内皮バリアー機能障害
○森川嘉文¹、鎌瀬京子²、堀之内美智²、笹島康秀¹、末次耕一¹、佐藤清人¹、竹腰裕二¹、遠藤智史²、五十里彰²、松永俊之²（¹岐阜県警・科捜研、²岐阜薬大・生化学）

P-08

α -ピロリジノオクタノフェノン誘導体による神経細胞アポトーシスの誘導
○松永俊之¹、森川嘉文²、谷川水規¹、鎌田恭平¹、遠藤智史¹、笹島康秀²、末次耕一²、佐藤清人²、竹腰裕二²、五十里彰¹（¹岐阜薬大・生化学、²岐阜県警・科捜研）

P-09

ヒト肝細胞における Ag ナノ粒子の細胞毒性およびアポトーシス経路

○薛玉英¹、王君君¹、高曉潔¹、藤原純子²、竹下治男²

(¹ 東南大学公共衛生学院、² 島根大・法医)

P-10

GaSb 薄膜の毒性評価

○藤原純子¹、西本尚己²、安田年博³、長谷川正紀⁴、竹下治男¹

(¹ 島根大・法医、² 島根産技、³ 福井大・病態遺伝生化学、⁴ 島根県警・科捜研)

P-11

陽イオン性界面活性剤が肺胞表面層の模擬モデルに及ぼす影響

○菅野さな枝^{1,2}、平野靖史郎³、青木康博²、向井敏二¹

(¹ 聖マリアンナ医大・法医、² 名市大・法医、³ 国立環境研)

P-12

3 割検尿から検出された 6 種の合成カンナビノイドの LC-MS/MS による高感度分析

○南方かよ子、山岸 格、野澤秀樹、長谷川弘太郎、権守邦夫、鈴木 修、渡部加奈子

(浜松医大・法医)

P-13

LC-MS/MS を用いた血液中フェニトイン及びフェニトインの同時分析

○鈴木隆佳¹、小川匡之¹、上山 純²、岩井雅枝¹、近藤文雄¹、妹尾 洋¹

(¹ 愛知医大・法医、² 名大院・病態解析学)

P-14

臨床検査における THC と関連カンナビノイドの異なるマトリックスでの固相抽出前処理および UPLC/MS/MS による定量分析

○松本真理子¹、Xin Zhang²、Jonathan Danaceau²、Kim Haynes²、Erin Chambers²

(¹ 日本ウォーターズ、² Waters Corp.)

P-15

薬毒物分析のためのセミターゲットおよびノンターゲット（「ディスカバリー」）スクリーニングツールの評価

Michelle Wood¹、藪 昌世²、○寺崎真樹²、Thomas Rosano^{3,4}

(¹ Waters Corporation、² 日本ウォーターズ、³ Albany Medical Center Hospital and College、⁴ National Toxicology Center)

P-16

In silico を用いたノンターゲット血中薬物スクリーニング法の構築（第2報）

○坂 幹樹¹、中園裕紀子²、工藤恵子³、箕畑俊和⁴、兼城昌敏²、平野一郎⁴、古田一匡²、藤井祐介¹、槇野陽介¹、池田典昭³、岩瀬博太郎^{1,5}

(¹ 東大・法医、² 富士通（株）、³ 九大院・法医、⁴ 島津製作所、⁵ 千葉大・法医)

P-17

ionRocket DART-MS を用いた血液試料中薬物分析手法の検討（2）

○安部寛子¹、竹井千香子²、坂倉幹始³、塩田晃久³、須賀香屋子⁴、矢島大介¹、岩瀬博太郎^{1,5} (¹ 千葉大・法医、² バイオクロマト、³ AMR、⁴ エービー・サイエックス、⁵ 東大・法医)

P-18

尿中覚せい剤およびカチノン系薬物の光学分割分析

○奈女良 昭¹、河村真帆²、中本晃弘²、藤田友嗣³、斎藤 剛⁴、村田和大¹、長尾正崇¹

(¹ 広島大院・法医、² 広島県警・科捜研、³ 岩手医大・救急、⁴ 東海大・救命救急)

P-19

GC-IRによる尿中フルオロメタンフェタミン類の位置異性体識別
○内川貴志、大槻光彦、森田 敦、春田祐輔（佐賀県警・科捜研）

P-20

LC-QTOF-MSによる血漿中界面活性剤のスクリーニング
○須賀香屋子（エービー・サイエックス）

P-21

GC-MSによる全血中シアン化物，チオシアン酸塩およびアジ化物の定量方法の改良と
NAGINATAスクリーニングへの応用
○工藤恵子¹、白元洋介^{1,2}、鮫島直美¹、奥村美紀¹、辻 彰子¹、池田典昭¹
（¹九大院・法医，²横浜市大・法医）

P-22

カルバマゼピン投与ラットを用いた歯牙への薬物分布に関する研究
○市岡宏顕、新谷 香、池谷 博（京府医大院・法医）

P-23

ナフチルエチルカラムを用いたLC-MSによる合成カチノン位置異性体の分離分析
○武田章弘、田上貴臣、浅田安紀子、土井崇広、川口正美、梶月由香、沢辺善之
（大阪府公衛研）

P-24

GC-MSによる*N*-アダマンチルカルボキサミド型合成カンナビノイドの位置異性体分析
○浅田安紀子、土井崇広、田上貴臣、武田章弘、沢辺善之（大阪府公衛研）

P-25

薬物分析への超臨界流体クロマトグラフの応用
○佐々木良祐、石崎哲章、安藤利典、樋野千寿（関税中央分析所）

P-26

ICP-MSを用いた危険ドラッグ中の金属パターン分析
○服部夏実、沼澤 聡（昭和大・薬）

P-27

押収されたCBDオイル製品のTHC含有量
○家宇治 啓（四国麻取）

P-28

LC-QTOFを用いたトリカブト中アルカロイドのスクリーニング
○滝埜昌彦¹、林田眞喜子²（¹アジレント・テクノロジー(株)、²日医大・法医）

P-29

2006年から2016年の間に覚せい剤が検出された21事例
○高安達典¹、山本寛記²、石田裕子²、野坂みずほ²、川口真理子²、國中由美²、木村章彦²、
近藤稔和²（¹金沢大・法医、²和歌山医大・法医）

P-30

ネット通販より購入したトリカブト塊根によるアコニチン中毒症例
○林田眞喜子¹、植草協子¹、大野曜吉¹、小原 浩²
（¹日医大・法医、²東邦大・医・循環器内科）

P-31

ガソリン吸入中に死亡したと推定される剖検例におけるガソリン及びトルエンの分析

○松本智寛、赤根 敦、橋谷田真樹、吉村澄孝、大林将弘（関西医大・法医）

P-32

GC/MS を用いた法医学的試料中の正露丸®成分の分析

○前橋恭子¹、立松依宙¹、坂本圭菜¹、岩楯桜子^{1,2}、岩楯公晴¹

（¹ 慈恵医大・法医、² 杏林大・保健）

P-33

千葉大学で経験した農薬が関連した法医解剖事例

○星岡佑美¹、成相舞花²、安部寛子¹、矢島大介¹、猪口 剛¹、千葉文子^{1,2}、永澤明佳¹、三浦 みゆき¹、岡馬恵介¹、岩瀬博太郎^{1,2}（¹ 千葉大・法医、² 東大・法医）

P-34

食品に混入された有機リン系農薬の分解過程に関する研究(第2報)

○大前義仁^{1,2}、北條正司²、西脇芳典³（¹ 高知県警・科捜研、² 高知大・理、³ 高知大・教）

P-35

抗 Δ^9 -テトラヒドロカンナビノール一本鎖 Fv フラグメントの作製と試験管内親和性成熟

○大山浩之¹、森田いずみ¹、松田和久¹、片木謙吾¹、小林典裕¹、田中宏幸²、森元 聡²
（¹ 神戸薬大、² 九大院薬）

P-36

新規モノクローナル抗ケタミン抗体の作製とその諸性質

○森田いずみ、大山浩之、神田 結、安尾まゆみ、伊藤 綾、小林典裕（神戸薬大）